

自立と共生！

たくましい日本！

No. 215号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2004年5月6日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

○こんなはずではなかった、国会の年金論議

「正春さん、あんたは、保険料大丈夫？」と、電話をいっぱいいただきました。「私は、大丈夫。」と、答えることが出来てホッとしています。

閣僚を攻め立てていたときには、我々民主党の中にも、何人かは未納がいるだろうとの覚悟はしていました。身を切っても、この際、骨を粉碎できればくらいの気持でした。しかし、まさか、菅さん自身に未納期間があったとは。お粗末でした。

本来は、この複雑な制度の問題点を浮き彫りにして、一元化と制度設計のやり直しが必要だと言う事を国民に理解してもらうための議論でした。それが、誰が未納でその責任をとってやめろ、やめないの議論にそれてってしまった事が、間違いだったのだと思います。

先ほど入った情報では、今度のことで、やっと与野党の合意が出来たようです。もう一度話を元に戻して、建設的な話にしようという方向が、確保できたのだと思います。政府は、ここまで来てやっと制度の欠陥を認め、我々と一緒に、年金制度の一元化と消費税をも含めた必要な財源の見直しをするための話し合いのテーブルにつくことを約束したということです。後は、保険料の流用で赤字施設や職員寮に使ってしまった関係者の責任をとらせること。この課題が残っています。

○憲法9条と安全保障、ちょっとづつの頭の整理

憲法の話が記念日を挟んで、今年も活発に論議をされました。私も、東京でのシンポジウムに出席して、他の党の代表や学者、評論家と論議をする機会がありました。

と思います。日本の安全保障を憲法に明文化すべきです。自衛隊がやるべき事、また、やってはいけないことを憲法でハッキリさせる事が大事だと思っています。

自衛隊は第一義的には専守防衛に徹する事。これは、大方のコンセンサスだと思います。問題は、海外で「国際貢献」をするときの自らにはめ込んだ活動の限界をどのように考えるかです。

私は、湾岸戦争、アフガニスタン、イラク戦争に共通する日本の具体的な貢献があると思います。アメリカが直接攻撃して相手の軍とか政権とかをつぶすための戦いには、日本は、それがたとえ国連主導の多国籍軍であっても参加すべきではない。

一方、その戦争がおさまって、新しい政府の樹立と同時に経済や社会の建て直しの過程で、自衛隊が、貢献することは大切だと思います。国連がイニシアティブをとって多国籍軍を持って、その国の再建と必要な治安維持をして行く事があれば、たとえ、時には治安上や兵力引き離しのために武力行使の必要があっても、日本の自衛隊が積極的に参加をしていく。

破壊のための戦争には参加をしないが、平和構築、国家創造には国連とともに積極的な貢献をする、と言う日本の国是をつくれればいいと思います。この辺で線引きをしながら、憲法9条に追加する条項を考えられないかと、私は、今、思っています。

○連休のお蔭で生き返る

連休は、久し振りに地元にいることが出来ました。両親の顔を見ること。子供達が集ってきたこと。久し振りの同窓会にも参加が出来て、自分の年齢の再発見。楽しい時を過ごしました。

映画は、パッションと、CHA0(女がそれぞれ生きるとき)を見ました。CHA0は心がとてもあったかくなりました。パッションは、半分くらいは、目をつむったま

私は、憲法の改正は、していかなければならないと思っています。総理大臣を中心とした内閣機能の見直しや、憲法裁判所の設置、地方分権への方向づけ、環境権やプライバシーなどの新しい権利、国連や国際機関と国の主権との関係など見直す分野はたくさんあります。特に、憲法9条をとりまく、論議は、これ以上の解釈でごまかす事は許されない

までした。イエス キリストが十字架にかけられるまでの残酷な殉教シーンには絶えられませんでした。これで、元気を出して、また頑張ります。